

## 「病棟看護師が捉えた在宅生活と実際の在宅生活のずれ-退院後訪問を通じて-」 に関する患者さま、ご家族の皆さま方へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合や、質問等ございましたら下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究に同意してからもいつでも撤回は可能ですので、その際も下記のお問い合わせ先にお問い合わせください。

研究に同意いただけない場合でも、患者さまに不利益は及びません。

尚、本研究は当院の臨床研究審査委員会の審査を受け、院長の許可を受けて実施します。本研究を行うにあたり病院からの資金提供はなく、研究を行うにあたり利益は生じず、利益相反は存在しません。

### 【研究課題名】

病棟看護師が捉えた在宅生活と実際の在宅生活のずれ-退院後訪問を通じて-

### 【研究目的】

看護師が入院中に得た在宅酸素療法導入患者さまの在宅生活の情報と、退院後訪問で確認した在宅生活の実際とのずれを明らかにすることが目的です

### 【研究の意義】

今後の HQT 導入患者さまへの退院指導に活かし、ひいては患者さまにあった在宅療養を継続することが出来る。

### 【研究の方法】

#### ●対象となる患者さま

4階病棟(旧北1階病棟)で2018年4月~2019年5月に退院後訪問を実施した在宅酸素療法導入患者さま、20名(退院後訪問件数は23件、内3名が同一患者のため対象患者数は20名)が対象となります。本研究では患者さまに新たなご負担をおかけすることはありません。

尚、本研究に関しては謝礼のお支払いは行っておりません。

#### ●利用するカルテ情報

カルテ(医師記録・看護記録・リハビリ記録など)をもとに調査いたします。

### 【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、研究対象者である患者様に番号を付与し匿名化します。また、お名前、住所など、患者さまを直接同定できる個人情報は削除します。

また、研究成果は学会で発表されますが、その際も患者さまを特定できる個人情報はありません。

また研究対象者である患者さまから要望があった場合、他の対象者さまの個人情報、研究の独創性の確保に支障を及ぼさない範囲内であれば研究に関する資料の提出を行います。

その場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。

この研究に関する情報の保管は5年間で保管期間が過ぎれば破棄いたします、保管に関しては病棟内のカギのかかる棚に保管いたします。

**【研究期間】**

臨床研究審査委員会承認後～2020年3月

**【問い合わせ先】**

大阪府堺市北区長曾根町1180番地

近畿中央呼吸器センター 4階病棟 看護師長 桶野和美 副師長 直江章子

研究代表者 雨堤尚也

電話 072-252-3021 FAX 072-251-1372